

科目番号	9	科目名	環境問題を学ぶ																																		
英文科目名																																					
大学・短期大学名	滋賀		大学																																		
連絡先	滋賀大学学務課総務係																																				
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122																																	
担当教員	田中 勝也, 松下 京平, 和田 佳之 (経済 学部 教授)																																				
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	未定																																	
教室名	未定	会場	彦根キャンパス																																		
授業期間	2024 年 10 月 1 日 (火) ~ 2025 年 1 月 21 日 (火) <毎週 火曜日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00																																				
超過時の選考方法	書類により選考																																				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%																																	
	レポート試験 (期末)			%																																	
	平常点 (出席・授業態度)			%																																	
	その他	(松下と和田の担当箇所については、大学全体の試験期間中に筆記試験を実施し、その結果に基づいて評価する。 田中の担当箇所については、5 回目のグループ討論(グループ点)と小テスト(個人点)を1:1で集計して評価する。 最終的に、3者の担当箇所の評価を総合し、最終評価を決定する。)	100	%																																	
別途負担費用	なし	あり()円																																			
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 本講義では、「経済と環境問題」や「環境の経済評価」などのテーマをもとに、環境問題について様々な観点から検討します。講義は3名の教員によるリレー講義形式で行われます。様々な観点から、総合的に環境を捉える力を養成します。 なお、開講形態は一部授業をオンラインで行うブレンド授業を予定しています。</p> <p>【授業の到達目標】 様々な観点から、環境問題を考察するための基礎知識や基礎力を習得し、ディプロマポリシーのDP2「社会にかかわる広い知識と基礎的な考え方」、ならびにDP5「グローバル社会での見識と異文化の理解」にかかわる知識・能力を養うことを目標とします。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10 月 1 日</td> <td>イントロダクション(担当: 松下)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 8 日</td> <td>環境と経済の両立可能性(担当: 松下)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 15 日</td> <td>持続可能な発展(担当: 松下)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 22 日</td> <td>気候変動問題(担当: 松下)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10 月 29 日</td> <td>日本のエネルギー政策(担当: 松下)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11 月 5 日</td> <td>環境問題に対する経済学からの視点(担当: 和田)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11 月 12 日</td> <td>生物多様性問題(ケーススタディとしての外来魚問題)(担当: 和田)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11 月 19 日</td> <td>里山・里川の持つ効能(担当: 和田)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11 月 26 日</td> <td>滋賀県内の環境保全葛籠のケーススタディ(担当: 和田)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12 月 3 日</td> <td>昨今のエネルギー問題を取り巻く「不都合な真実」(担当: 和田)</td> </tr> </tbody> </table>				回	月日	テーマ・キーワード	1	10 月 1 日	イントロダクション(担当: 松下)	2	10 月 8 日	環境と経済の両立可能性(担当: 松下)	3	10 月 15 日	持続可能な発展(担当: 松下)	4	10 月 22 日	気候変動問題(担当: 松下)	5	10 月 29 日	日本のエネルギー政策(担当: 松下)	6	11 月 5 日	環境問題に対する経済学からの視点(担当: 和田)	7	11 月 12 日	生物多様性問題(ケーススタディとしての外来魚問題)(担当: 和田)	8	11 月 19 日	里山・里川の持つ効能(担当: 和田)	9	11 月 26 日	滋賀県内の環境保全葛籠のケーススタディ(担当: 和田)	10	12 月 3 日	昨今のエネルギー問題を取り巻く「不都合な真実」(担当: 和田)
回	月日	テーマ・キーワード																																			
1	10 月 1 日	イントロダクション(担当: 松下)																																			
2	10 月 8 日	環境と経済の両立可能性(担当: 松下)																																			
3	10 月 15 日	持続可能な発展(担当: 松下)																																			
4	10 月 22 日	気候変動問題(担当: 松下)																																			
5	10 月 29 日	日本のエネルギー政策(担当: 松下)																																			
6	11 月 5 日	環境問題に対する経済学からの視点(担当: 和田)																																			
7	11 月 12 日	生物多様性問題(ケーススタディとしての外来魚問題)(担当: 和田)																																			
8	11 月 19 日	里山・里川の持つ効能(担当: 和田)																																			
9	11 月 26 日	滋賀県内の環境保全葛籠のケーススタディ(担当: 和田)																																			
10	12 月 3 日	昨今のエネルギー問題を取り巻く「不都合な真実」(担当: 和田)																																			

11	12月10日	持続可能なまちづくり① オレゴン州ポートランド市の事例(担当:田中)
12	12月17日	持続可能なまちづくり② グリーンインフラ(担当:田中)
13	1月7日	持続可能なまちづくり③ 災害に強いまちづくり(担当:田中)
14	1月14日	持続可能なまちづくり④ 経済学とデータサイエンスの役割(担当:田中)
15	1月21日	グループ討論と小テスト(担当:田中)
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 授業において配る資料</p> <p>【参考書】 ISBN 9784772603232 書名 エコロジカル・フットプリント：地球環境持続のための実践プランニング・ツール 著者名 マティース・ワケナゲル, ウィリアム・リース著；池田真里訳,Wackernagel, Mathis,Rees, William E.,和田, 喜彦,池田, 真里, 出版社 合同出版 出版年 2004年</p> <p>ISBN 9784865792140 書名 気候変動時代における私たちの役割 著者名 環境省編,環境省, 出版社 日経印刷</p> <p>【教材に関する補足情報】</p> <p>特に指定しないが、各担当者の講義の中で参考文献等を指示する。</p> <p>・参考書 書名:環境白書 循環型社会白書/生物多様性白書 令和3年版 URL: http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/</p>		